

## 2025年度 外国人留学生入試 出題の意図

科目	出題の意図
日本語	<p>問題Ⅰは、書き言葉の日本語で書かれた実際の文章を読んで問いに答える問題である。読解問題として、文章の流れや内容が理解できているかを問い、また理解した内容を日本語で決められた字数にまとめて書けているか等を見る。また、漢字の読み書き、文脈に合った語彙の選択等の問題も含まれる。</p> <p>問題Ⅱは、日本語の文法、語彙に関する問い、及び単作文を書く問いがあり、正しい表現を使って正しい日本語表記で書くことができるかを見る。</p>
英語	<p>I [読解] 英語で書かれた一般的なテーマの文章を読み、文脈に合った単語の意味を選択でき、著者の発言を適切に判断できるかを問う。</p> <p>II [文法] 英語の基本的な構文や表現を理解しているかを問う。</p> <p>III [整序作文] 日本語と英語で語順や構文が異なる表現を理解し、ほぼ同等の情報を指定された語彙群で伝えられるかを問う。</p> <p>IV [記述作文] テーマに関する自分の考えをまとめ、それを適切な表現で、英語で論理的な構成で、指定の長さにあわせて表現できるかを問う。</p>
<b>数学</b> <small>(経済学部・現代社会学部・農学部 食農ビジネス学科)</small>	<p>出題の意図としては、経済学部1～2年次で学ぶミクロ経済学、マクロ経済学や統計学などの履修に必要とされる、中学～高校レベルの数学基礎力を確認することを目的としている。特に、基礎的な微分・積分、方程式の解法、確率、N進法など、データサイエンスや情報処理にも対応した内容を取り入れ、現代的な経済学教育に対応できる力を測る初級～中級レベルの問題を中心に構成している。</p>
<b>数学</b> <small>(理工学部 ※生命科学科以外)</small>	<p>志望学科での学びにどうしても必要な数学に関する習熟度を測ることを意図している。普通科高等学校で履修する数学I、数学II、数学A、数学Bに相当する内容を問うことが多く、本年度の出題は、数と式、方程式と不等式、三角関数、対数関数、微分と積分など数学I、数学IIの内容から出題した。いずれも教科書の例題や練習問題に相当する基本問題であるから、高得点することが望ましい。</p>
<b>生物</b> <small>(理工学部 生命科学科)</small>	<p>大問1は、生物の体内環境の調節に関する問題であり、大問2は、動物の配偶子の形成と減数分裂に関する問題である。</p> <p>大問1と大問2において、基本的な知識を問う問題の他に、リード文や図表で与えられた情報から、解を導く思考力を問う問題を出題した。</p>
<b>化学</b>	<p>1では、化学の理論分野・無機化学・有機化学にまたがる基本事項を題材として、基本概念の理解および定量的・論理的処理能力が身についているかを網羅的に確認した。</p> <p>2では、NH<sub>3</sub>の工業的製造法であるハーバー・ボッシュ法を通して、触媒の役割や化学平衡に関する理解を問うた。</p> <p>3では、酢酸の電離を題材に計算問題を含め、電離平衡の理解を評価した。</p> <p>4では、酸化還元反応を通じて、酸化還元概念と金属のイオン化傾向に関する理解を問うた。</p>
<b>生物</b> <small>(看護学部)</small>	<p>生物とエネルギー、遺伝子とその働き、ヒトの体内環境を維持するしくみ、免疫と生活に関する基本的な原理・法則性の理解を問う目的で出題した。</p>
<b>生物</b> <small>(農学部 ※食農ビジネス学科以外)</small>	<p>本問題は、高等学校で学習する「生物基礎」に関する基本的な知識を広く身につけているのか、更に生物に関わる現象や仕組みについて正しく理解しているのかを主に問うものとなっている。また、一部の問題は、生物に関わる知識や問題で示した情報を用いて、正解を導くための応用力も測るものとなっている。</p>